

私の好きな「悟った人」たち 無学求道作成「お釈迦さんの変わった方法」より
いろいろ、調べればもっと該当者がいることと思いますが、私は調べる
よりは坐る方が好きです。ごめんなさい。

明恵上人（1173年—1232年）

鎌倉時代、いまの和歌山県有田郡で生まれて、9才で京都にのぼり、華嚴
宗の仏道修行を始め、24才のとき有田郡湯浅の東白上で「文殊菩薩が黄金
色に輝く獅子の背にのって示現した」という「見仏体験」をしました。

参考文献 明恵上人 白州正子著 新潮社

ネット動画三部作 <http://www.youtube.com/watch?v=KkM5ovNpvU>

HP <http://www.town.aridagawa.lg.jp/ijin/myouehon/myouehontop.htm#nisi>

盤珪さん（1622年—1693年）

江戸時代初期の禅僧。有名な白隠さんより64年早く生まれています。

日本のお寺で修行して因可をもらいました。先生に「諸国の善智識に
会ってきなさい」と送り出してもらいました。ちょうど九州に来ていた中
国の道者禅師に師事して修行しました。あるとき「新しい悟り」をつかみ申
し上げたところ認められて因果を頂きました。後に「不生禅」＝人は皆初め
から整っている、を説きながら、坐禅指導されました。「公案、漢語、棒、喝」
はいらない。坐禅指導は普段の言葉で話せばできると言われていました。

いつごろの事か分かりませんが「師・道者が生きていたらもっと善き人
に仕上げあげたのに」と言われていたそうです。私は師匠を越えた境地
をつかまれた「慈悲の心」の表れだと考えています。

参考文献 盤珪禅師逸話選 禅文化研究所

以下は参考のHP。私のネット上の友人太田さんの作です。

<http://www.ne.jp/asahi/sindaijou/ohta/gendaijinnozen/ix-zensou.htm>

幸之助さん（1894年—1989年）

経営の神様で知られている松下幸之助氏です。氏は第二次大戦の頃に
「悟りを開かれ」以後40年以上毎朝の坐禅をかかさなかったようです。
「悟り」については「素直な心になるために」という本にまとめられました。
悟りを開かれてから30年ほどたった、深い境地で書かれています。

「月刊誌PHP」は素直な心になるための生涯教育の雑誌です。

参考のホームページは <http://www.php.co.jp/pfc/sunao/>です。

「PHP研究所＋素直な心になるために」で検索できます。